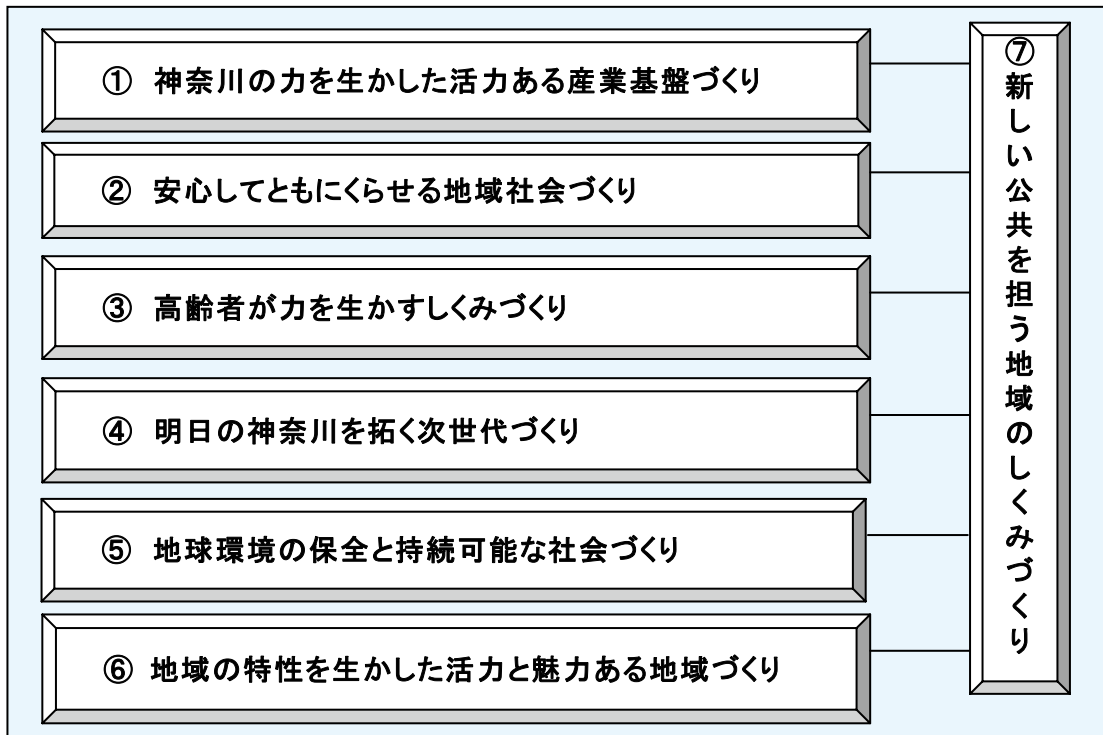


1 重点方向

7つの重点方向

主要施策のうち、4年間に重点的・優先的に取り組む「戦略プロジェクト」を選定する考えを示したものです。



① 神奈川の力を生かした活力ある産業基盤づくり

<基本認識>

神奈川は全国でも遅く人口減少に転じることから、人口が減少する時代にあっても、神奈川に活力を生み出し続けるための基盤づくりを着実に進めていく必要があります。このためには、インベスト神奈川*、かながわツーリズム*など、これまでの取組みを一層発展させ、神奈川の力を結集して県内産業全体の活力を高めていく必要があります。

<取組みの方向>

地域の中小企業と大企業・大学などの相互連携を活発化し、イノベーションの促進による産業競争力の強化を図るとともに、産学公連携による新技術・新製品開発などを通じた中小企業のものづくり支援や経営革新、国内外からの企業誘致を促進し、高度先端産業の一層の集積を図っていきます。また、多様な担い手の育成・確保や県内産農林水産物の安定供給と消費・販売の取組みによる農林水産業の新たな展開を図っていきます。

[対応する主な戦略プロジェクト]

- 地域産業力の強化と神奈川R&Dネットワーク構想の本格的展開
- 強いベンチャー企業*の育成と重点分野の振興
- 産業集積の促進と海外との経済交流の推進
- 農林水産業の新たな展開

② 安心してともしくらせる地域社会づくり

<基本認識>

これまでの取組みを通じて犯罪のない安全なまちづくりのための取組みが育っています。こうした取組みを一層広げて、地域の安全を確保するとともに、保健・医療・福祉や消費生活などを含めた安心してくらしの確保など生活全体の安全・安心の充実に向けた対応を図る必要があります。

<取組みの方向>

地域の自主防犯活動の拡大とネットワーク化など犯罪のない地域社会づくりと、災害に強いまちづくりを着実に進めます。また、食の安全・安心の確保や、複雑化、巧妙化する消費者問題に対応するための相談体制の充実強化を図るとともに、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も誰もがともしく生きと自立した生活が送れるよう支援を進めます。

[対応する主な戦略プロジェクト]

- 事件・事故のない安心してくらせる地域社会づくり
- 大規模地震に備えた対応力の強化
- 安全で安心な食生活・消費生活の確保
- ともしく生き、支えあう地域社会づくり
- 高齢者が安心してくらせるしくみづくり
- 障害者の地域生活を支えるしくみづくり
- 安心してくらせる地域保健・医療体制の整備
- 多文化共生の地域社会づくり

③ 高齢者が力を生かすしくみづくり

<基本認識>

神奈川は全国でも高齢化が急速に進むことが見込まれています。今後、2010年までの4年間に団塊の世代*が大量退職を迎え、地域社会での一層の活躍が期待されることから、高齢者がこれまで培った経験を生かして社会を支えるとともに、健康で心豊かなくらしを送るためのしくみづくりを進める必要があります。

<取組みの方向>

高齢者が健康で生き生きとくらすことができるしくみを整えるとともに、専門知識を生かす環境を整備するなど地域への貢献を支援します。また、多様な就業ニーズに対応した取組みを進めます。

[対応する主な戦略プロジェクト]

- 高齢者が安心してくらせるしくみづくり
- 多様な主体が公共を担う協働型社会の実現
- 文化芸術・スポーツを楽しむ環境づくり
- 就業支援の充実と産業人材の育成

④ 明日の神奈川を拓く次世代づくり

＜基本認識＞

神奈川では、1人の女性が一生の間に生む子どもの数を示す合計特殊出生率が、2006年には1.23と全国の1.32を下回るなど、少子化が進行しており、子どもを安心して生み育てられる社会環境を築くことが急務となっています。また、社会問題となっている虐待やいじめ、不登校の問題への対応をはじめ、子どもが社会の中で健やかに、明日を拓く次世代として育まれていくための取組みを進める必要があります。

＜取組みの方向＞

子どもを育てる家庭に対する社会全体のサポート体制の整備や、虐待やいじめ、不登校などに悩む子どもや家族を支援する体制づくりを進めていきます。また、キャリア教育*による勤労観や職業観の醸成や将来社会人として適切に判断し、行動するための能力の向上など、一人ひとりを大切に教育を推進します。さらに、青少年が心豊かに育ち、自立できるよう、きめ細かな支援や環境づくりを地域の協力体制の下で行っていきます。

[対応する主な戦略プロジェクト]

- 子ども・子育て支援のしくみづくり
- 支援を必要とする子ども・家庭への総合的な対応
- 青少年が心豊かに育ち、自立できる社会づくり
- 不登校、いじめ、暴力行為への総合的な対応
- 子どもたちが未来を拓く力を伸ばす教育の推進
- かながわの学校力を高める教育環境づくり

⑤ 地球環境の保全と持続可能な社会づくり

＜基本認識＞

温暖化対策の推進など地球環境問題への対応や持続可能な社会に向けた取組みの強化が求められています。マイアジェンダ制度など、これまでの取組みを通じて県民意識が高まり、NPO*や県民による取組みも広がるなかで、環境政策の充実・強化を図る必要があります。

＜取組みの方向＞

日常生活や事業活動を環境に配慮したものに転換していくために、マイアジェンダ制度の一層の普及を図るほか、循環型社会の実現に向けた取組みの強化など、県民、企業、NPOなどと協働、連携した取組みを進めていきます。また、生物多様性の確保と良好な自然環境の保全・創出するため、丹沢大山や水源地域の保全・再生、都市と里山のみどりの保全・活用を進めていきます。

[対応する主な戦略プロジェクト]

- 地球温暖化対策の推進
- 循環型社会づくり
- 丹沢大山の自然再生の推進
- 都市と里山のみどりの保全と活用
- 水源環境の総合的な保全・再生

⑥ 地域の特性を生かした活力と魅力ある地域づくり

<基本認識>

神奈川では引き続き人口が増加する地域がある一方、既に人口の減少が見られる地域もあります。また、少子化、高齢化の進行など、地域をめぐる様々な課題が生じています。このため、県全体として質的にバランスある発展を図るという考え方を基本に、地域がもつ特性や資源を生かした地域づくりを進めていく必要があります。

<取組みの方向>

市町村の地域づくりの取組みを支援するとともに、交通基盤や都市拠点の整備促進、地域産業の活性化、安全・安心の確保など、広域的な観点から、災害に強く、活力と魅力ある地域づくりを進めます。また、八都県市首脳会議や山梨・静岡・神奈川三県サミットなど近隣の自治体との連携強化に向けた取組みを進めます。

[対応する主な戦略プロジェクト]

- 三浦半島の魅力あふれる地域づくり
- 環境共生モデル都市圏の形成
- 相模湾沿岸地域の魅力の保全と創造
- 交流・連携による県西地域の活性化
- 安全で活力ある県土づくり

⑦ 新しい公共を担う地域のしくみづくり

<基本認識>

人口が減少する時代に向けて、人々の生活ニーズに応えるくらしやすい地域社会を築くためには、お互いに支えあう地域の仕組みづくりを着実に進めることで、地域で支え合う力を高める必要があります。

<取組みの方向>

それぞれの政策分野において、行政だけでなく、県民やNPO、企業など多様な担い手が適切に役割を分担し、課題解決に結びつく活動ができるよう、ネットワークづくりを進めます。また、地域のニーズや生活課題を受け止めるための地域の自主的な活動を支援するとともに、活動に取り組む人材の育成や、多様な主体が公的サービスを提供するための協働のしくみづくりを進めていきます。

